

平成16年度普通会計決算見込みのポイント

1. 決算の特徴について

()は前年度の数值

- (1) 歳入歳出決算額が3年振りに前年度決算額を上回ったこと。

主な理由

(歳入) 県税の増

(歳出) 税関連交付金、県立病院改革関連経費の増

		伸び率
歳入	1,491,205百万円	0.9% (3.8%)
歳出	1,453,801百万円	0.2% (3.9%)

- (2) 実質収支は29年連続で黒字となったこと。

実質収支 1,801百万円 (1,609百万円)

- (3) 県税収入は、法人二税等の増収により、4年振りに増収となったこと。

増減額	伸び率
31,154百万円	6.6% (0.7%)

市町村交付金を控除した実質収入ベース

増減額	伸び率
24,452百万円	6.2% (1.4%)

- (4) 県債の発行額が減少したこと。

218,045百万円 (241,450百万円)
うち 臨時財政対策債 67,478百万円 (94,281百万円)

* 地方財政対策において、地方の財源不足を補うため、発行することとされた特例債

- (5) 3基金からの繰入額が増加したこと。

6,300百万円 (1,600百万円)